

令和5年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	雇用対策の総合的推進に必要な経費			担当部局庁	政策統括官(経済財政運営担当)	作成責任者						
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(予算編成基本方針担当) 参事官(産業・雇用担当)	高橋 洋明 阿部 一郎						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第1項第1～3号			関係する計画、通知等	経済会との意見交換会(平成25年4月19日)における経済界に対する就職・採用活動時期後ろ倒しの総理からの要請							
政策	4. 経済財政政策				主要経費	その他の事項経費						
施策	4. 経済財政に関する施策の推進											
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyoka/r3bunseki/r3bunseki-18.pdf											
事業の目的 (5行程度以内)	学生の学修時間の確保等の観点から、安倍内閣総理大臣が平成25年4月に経済界に対し、就職・採用活動時期の後ろ倒しを要請し、同年の成長戦略や骨太の方針の柱として位置づけられた。それ以降、就職・採用活動開始時期の円滑な定着に向けて、関係省庁・関係団体が必要な取組を行うことができるよう、また、就職・採用活動の円滑な実施及び若者の安定的な雇用を推進することを目的に、就職・採用活動に関する学生の意識・行動等の実態を把握することとしている。											
現状・課題 (5行程度以内)	近年、学生の就職活動は、早期化・長期化する傾向にあることに加え、就職・採用活動の開始日より前にインターンシップ等と称して実質的な採用選考活動が実施されるなどの事態が生じているほか、就職活動を行う学生に対するハラスメントが問題となっており、これらは、学生に混乱をもたらすとともに、学業に専念する機会や、安心して就職活動に取り組める環境を大きく損なうものである。また、2024年度卒業・修了予定者に対し、採用と大学教育の未来に関する産学協議会の整理に基づいたインターンシップ等が開始されるようになるなど、学生の就職・採用活動に関する新たな取組も進んでおり、こうした就職・採用活動の実態について適切に把握する必要がある。											
事業概要 (5行程度以内)	毎年度、卒業・修了予定者に係る就職・採用活動の実態を把握するため、学生の意識・行動等の調査を行う。											
事業概要URL	https://www5.cao.go.jp/keizai/gakuseichosa/index.html											
実施方法	直接実施											
補助率等	-											
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	6.4	令和3年度	6.4	令和4年度	6	令和5年度	5.6	令和6年度要求	6
		補正予算(B)		-		-		-		-		-
		前年度から繰越し(C)		-		-		-		-		-
		翌年度へ繰越し(D)		-		-		-		-		-
		予備費等(E)		-		-		-		-		-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		6.4		6.4		6		5.6		6
執行額(G)		6.1		4.7		4.4						
執行率(%) =(G)/(F)		95%		73%		74%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		95%		73%		74%						
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)							
	(項)	経済財政政策費										
	(目)	経済財政政策運営調査費	5.6	6								
		その他										
		計(A)	5.6	6								

活動内容① (アクティビティ)		毎年度、卒業・修了予定の学生を対象に、就職活動の実態に関するアンケート調査を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		就職・採用活動に係る調査の実施	調査の実施件数	活動実績	1	1	1	1	-	-
				当初見込み	1	1	1	1	1	-
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		就職・採用活動に係るアンケート調査は、学生の就職活動の実態を把握することにより、今後の就職・採用活動の円滑な実施に向けて、企業側、大学側、関係省庁による議論や取組、政府から経済団体等への要請内容の検討に活用することを目的としている。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		学生の就職・採用活動の実施にあたり企業側の配慮がなされているか。	企業が就職活動の日程・時間帯等について配慮していたと回答した割合 ※調査対象は大学4年生・院2年生	成果実績	-	73.7	72.4	72.6	-	
				目標値	-	100	100	100	-	
				達成度	%	73.7	72.4	72.6	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		内閣府「令和4年度委託調査事業 学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」(2022年11月30日) 過去のアンケート調査における成果として、就職活動開始時期による学生の企業説明会・面接・内々定等の時期や就職活動の学業への影響、いわゆるオワハラなどのハラスメントの実態などを把握することで、次年度以降の日程や必要な配慮等に関して、企業側、大学側、関係省庁による議論や取組、政府から経済団体等への要請内容の検討に活用されている。また、アンケートを基に実施した本年4月の就職活動日程ルールの見直しは、主要5紙やテレビ、インターネットニュースでも大きく取り上げられた。								
↓										
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		就職・採用活動に係るアンケート調査は、学生の就職活動の実態を把握することにより、今後の就職・採用活動の円滑な実施に向けて、企業側、大学側、関係省庁による議論や取組、政府から経済団体等への要請内容の検討に活用することを目的としていることから、複数のアウトカムを設定することに馴染まないため。								
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善										
点検結果		調査結果については、昨年11月に速報版を公表するとともに、「就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議」等において、就職・採用活動日程を検討する中で効果的に活用された。 また、コスト低減を図るため、一般競争入札・総合評価方式を利用するとともに、市場価格調査への掲載や十分な公告期間の設定、幅広い業者への周知等により、複数業者の応札に努めた。						目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)		
改善の 方向性		就職・採用活動に係る調査については、引き続き、関係省庁や有識者等の意見を調査項目に反映させることで効果的に実施する。また、市場価格調査への掲載や十分な公告期間の設定等、広く業者に周知し、より多くの業者の応札を得られるように工夫するとともに、一般競争入札による事業者の選定を行うこと等により、コストの低減に努める。								

外部有識者の所見												
点検対象外												
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見												
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況												
現状通り	引き続き、事業の適切な管理、予算の効果的かつ効率的な執行に努めていく。											
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ												
過去に受けた指摘事項 と対応状況	<p>事業としてはやるべきだが、就職活動が従前の画一スケジュール方式から、柔軟化に向かっている流れからすれば、この事業の基本を再検討して欲しい。たとえば調査結果を用いて何を、どうするかを再考すべきであろう。企業の採用活動のあり方、学生の就職活動の現状に対する反省をふまえた上で、政策の方向を明確に周知できるようKPIに改善を求めたい。</p>											
	上記への対応状況											
	<p>就職・採用活動に係るアンケート調査は、学生の意識変化などの就職活動の実態を把握することにより、政府から経済団体等への就活日程ルールの要請内容の検討や当該ルールの周知等に活用することを目的としている。昨年度の調査結果は「就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議」等において、就職・採用活動日程を検討する中で重要な基礎資料の一つとして効果的に活用された。</p> <p>また、本年の政府要請においては、経済界に対して、初めてオワハラ防止徹底等を要請したところ、更なる実態把握のため、今年度から調査項目の改善を行っている。今後も就職・採用活動をとりにくく状況の変化等も踏まえ、的確に実態を把握するため、必要に応じて、調査項目の改善等を図っていく。</p>											
	その他の指摘事項											
	-											
上記への対応状況												
-												
備考												
-												
関連する過去のレビューシートの事業番号												
平成23年度	23											
平成24年度	24											
平成25年度	123											
平成26年度	120											
平成27年度	131											
平成28年度	126											
平成29年度	131											
平成30年度	138											
令和元年度	内閣府	-			0149							
令和2年度	内閣府				0155							
令和3年度	2021	府	20		0166							
令和4年度	2022	府	21		0167							

内閣府
4.4百万円



A.株式会社 マーケティング・コ
ミュニケーション
4.4百万円

学生の就職・採用活動開始時期
等に関する調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者について 記載する。費目と用途の双方 で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	経済財政政策運営調査費	学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査	4.4			
計		4.4	計			
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社マーケティング・コミュニケーションズ	1120001089598	学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査	4.4	一般競争契約 (総合評価)	1	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック